

久保興業株式会社（川上砕石場）

愛媛県喜多郡/鉱業、採石業、砂利採取業

<https://www.kubocom.co.jp/>

事業概要

久保興業株式会社は愛媛県で1967年の創立以来、砕石の生産や生コンクリート製造、土木工事まで幅広く地域インフラを支える事業をしています。

本事業では、砕石山から削り出した原石を砕き、生コンクリート等の材料を作成する砕石工程の中心となる破碎機を、高効率な省エネ設備に更新をしました。加工時の電力使用量を削減することで省エネを実現しました。



事業者メッセージ

これまで、製造時に必要な電力の削減や、発生する騒音の問題は長年の課題でした。今回、省エネ事業に取り組む中で、高水分の原料にも対応できる、電力消費を抑え、低振動でとにかく静かな機械を導入することができ、大変満足しています。当社の砕石場は山間部に位置しており、機械が人目に触れる機会は多くありませんが、製品に私たちの想いやストーリーを含め、環境負荷に真摯に向き合う企業として広くPRしていきたいと考えています。そして、お客様に「選ばれる企業」となることを目指して、これからも取り組みを続けてまいります。

省エネ効果

エネルギー使用量

33.3(kl/年)

省エネルギー量

16.3(kl/年)

削減コスト

146(万円/年)

補助対象設備の
省エネルギー率

48.9%

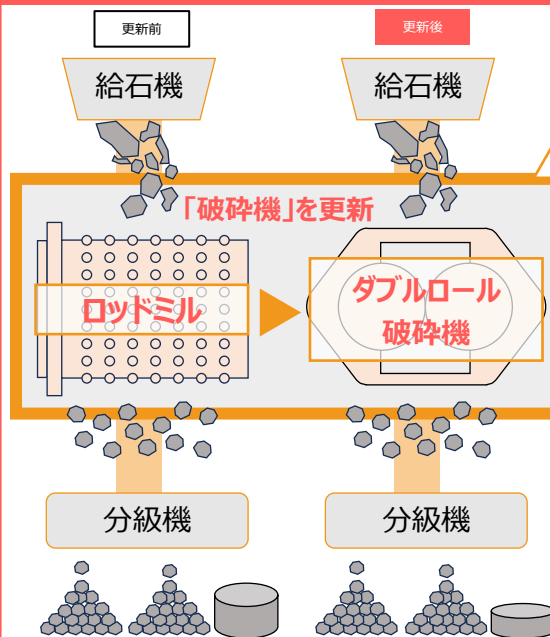
CO₂削減効果

32.1(t-CO₂/年)

※ 削減コストは、電力利用額：1kWh当たり20円を乗じた値

省エネのPOINT

砕石製造の破碎機を高効率化し省エネを実現



✓ 動力のエネルギー使用量を削減
ダブルロール破碎機は砕石工程で、2つのローラーを調整した速度で回転させることで効率よく原石を砕きます。砕石システムを高効率にすることで生産性を保ちながらエネルギー使用量を削減しました。

✓ メンテナンス性の向上
既存設備は攪拌用のロッドを設備に投入して原石を砕く方式でしたが、ロッドは消耗品となります。ダブルロール方式ではロッドの投入は不要のため、メンテナンス性も向上しました。

✓ 年間のエネルギー使用量を削減

更新前 33.3kl/年

更新後 17.0kl/年 16.3kl/年 削減

導入設備

ダブルロール破碎機

出力：150kW

通過能力(参考値)：90t/h

1台

